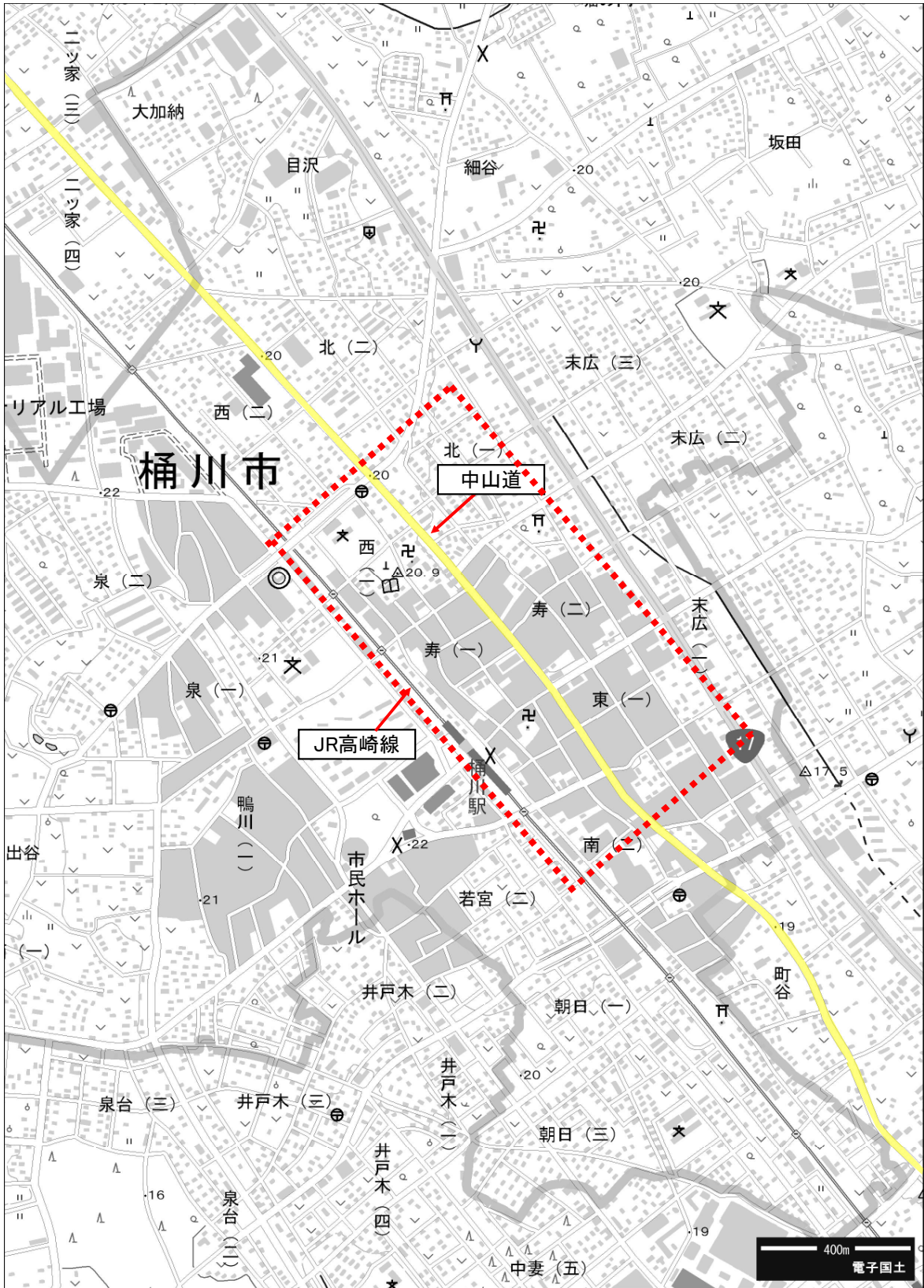


桶川



案内図

 調査範囲

桶川



凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

桶川



桶川宿は中山道、日本橋から6番目の宿場町で良質な麦や、紅花の集散地として栄えた。特に「桶川臙脂(えんじ)」の名で全国に知られた紅花は、天明・寛政年間に栽培が始まったと伝えられ、山形県に次ぐ産地として知られていた。

(写真は中山道)

<p>1 -1 木戸址(上)</p>	<p>1 -1 木戸址(上)</p>	<p>2 店舗</p>
<p>宿の北側の木戸址。高さ1m程の石柱が立っている事でその場所が判る。隣には小さな御堂がある。木戸には上と下がある。</p>	<p>木戸址の石柱の後方には製麺会社の店舗があり木枠のガラス戸と板塀が往時を想像させる店構えになっている。</p>	<p>大きな瓦屋根、漆喰壁風の造りで落ち着いた雰囲気のある店舗を演出している。</p>
<p>3 蔵</p>	<p>4 中山道</p>	<p>5 稲荷神社</p>
<p>街道から入る細い通りに沿って見ることが出来る赤いレンガの壁が今も鮮やか。壁に開いた小窓の奥行きから壁の厚みが想像できる。</p>	<p>車通りの多い街道とその両脇の店舗の並びは賑やかである。往時の宿場街の賑わいもこの様だったのかと想像させられる。</p>	<p>木の幹に自然に開いた穴の中に稲荷神社を祀った珍しい光景である。近年のもので、幹の穴にゴミを投げ入れる人への戒めの意味もあるとのことである。</p>

6	桶川稲荷神社	7	店舗	8	住宅
					
<p>鮮やか赤の鳥居の奥、石畳の参道の先に本殿が見える。住宅街の中に開けた空間を提供し、憩いの場も提供しているようだ。</p>		<p>少し前の昭和の匂いのする店舗のファサードが目を引く。</p>		<p>入口の格子のくぐり戸が懐かしい感じがする。母屋と相まってゆったりとした気分させる。</p>	
9	店舗	10	民家と煙突	11	蔵
					
<p>直線と四角で構成されたデザインが二階正面の板張壁の木肌と相まってシンプルでスッキリまとまり小気味良い。</p>		<p>くぐり門と隣地の銭湯の煙突が良い雰囲気。</p>		<p>街道から少し奥まった所に2棟の蔵が建っている。背の高い蔵の屋根の頂上両端に据えてある櫛状の飾りものが興味深い。</p>	
12	旧旅籠	13	病院	14	商家
					
<p>広く大きな瓦屋根と二階窓の木の格子、そして入り口の木枠の引き戸が印象的な建物である。 江戸時代末期に建てられた旅籠ということである。</p>		<p>RC打ち放しのフレームとタイル貼りの外観。落ち着いた色調で町に溶け込んでいる。</p>		<p>紅花も扱っていたといわれる穀物問屋。往時の風情を今に残す。</p>	

	<p>16 店舗</p> 	<p>17 蔵</p> 
	<p>2階部分の格子が美しい。</p>	<p>非常にめずらしい3層の蔵。</p>
<p>18 植栽を施した店舗ビル</p> 	<p>19 店舗</p> 	<p>20 店舗</p> 
<p>交差点の角に建つ銀行。交差点に対し高木を含めた植栽を行い、景観に配慮している。</p>	<p>レトロな店舗2軒。 巨大円柱をモチーフにしたものは他地域でも見られる。</p>	<p>2軒並んだ店舗と住宅。 小振りで愛らしい。</p>
<p>21 -1 蔵</p> 	<p>21 -2 蔵</p> 	<p>22 浄念寺</p> 
<p>駅近くにある農協の石造の倉庫。</p>	<p>壁面にバットレスが見える。 開口部はアーチを用い、本物の組積造であることを想起させる。</p>	<p>龍宮城のような山門。</p>

23	住宅	24	25	旅館	
			<p>時代とともに1階部分はタイル貼り、アルミサッシに変わっているが、2階部分は創建時の面影を残す。</p>	<p>木造でありながら間口の広い店舗。</p>	<p>非常に端正な外観をもつ旅館。現在もビジネスホテルとして営業している。</p>
26	火の見櫓				
			<p>アングルとブレースによる火の見櫓。以前はよく見たが、数も減少している。</p>		